

## 知ることから始めよう！

### 沖縄戦終結75年「慰霊の日」に

#### 75年前に起きたこと

75年前に起きたこと知っていますか？

太平洋戦争の末期1945年、3月26日米軍は沖縄・慶良間諸島に上陸を開始、日本で唯一地上戦が行われました。凄まじい砲撃と爆撃は鉄の嵐と言われました。

事実上日本軍が組織的な戦闘を放棄したのが6月23日といわれています。

凄惨をきわめた、地上戦は組織的な戦闘が終わった後も続きました。日米双方で20万人以上が死亡し、そのうち一般住民は9万4000人、沖縄県民の4人に一人が犠牲になったといわれています。沖縄県はこの沖縄戦で命を落とした人たちを悼み、二度と戦争を繰り返さず、平和を誓うためにこの6月23日を「慰霊の日」としています。

#### 聞くから、伝えるへ

いま青い海と、海岸に立ち並ぶリゾートホテルなど、南のリゾート地沖縄に、戦闘の影は薄くなっています。同時に語る人たちも高齢になり、語り継がれることも難しくなり記憶も薄れようとしています。しかし、かつて地獄のような沖縄戦を体験した人たちは決して忘れることはありません。

私は、20数年前に沖縄戦の話を直接聞く機会がありました。当時まだまだ元気だった方々も、今では高齢になり亡くなった方も多く見えます。年々、沖縄戦は遠くの出来事となっています。

実際、沖縄でも沖縄戦を語る家族「いない」50%（6/23毎日日刊）を超えています。体験した人たちから語ってもらうことが難しくなっているのです。75年とはそういった年月なのです。

#### つながる命

「慰霊の日」で毎年朗読される平和の詩、今年は地元の高校生高良朱香音（たからあかね）さんが激戦地跡のガマ（壕）を平和学習で訪れた時の思いを詩にしました。

「勇気を振り絞って語ってくれたおかげで～略～平和の尊さをしった。」「私は忘れない平和を求める仲間として」と締めています。

私たちは平和を築くために、決して忘れてはいけないこと、命の大切さを語り継ぐことです。

**未来が平和であるには、過去を学ぶことが重要です  
過ちを繰り返さないために**